

研究業績リスト

著者	北海道医療大学看護福祉学部
雑誌名	北海道医療大学看護福祉学部紀要
号	16
発行年	2009-12-20
URL	http://id.nii.ac.jp/1145/00006293/

研究業績リスト

(2008年10月1日～2009年9月30日)

人間基礎科学講座

教授：ハワード・N・ターノフ， 館山 碧，

森田 勲

准教授：薄井 明，小澤 次郎

講師：鎌田 禎子，櫻井 潤

(1) 著書

- 1) 薄井 明：「現代社会と社会システム」，志水 幸（編著）『社会理論と社会システム』，久美株式会社，2-13，2009，5.
- 2) 薄井 明（編著）：『社会福祉士国家試験完全対策 必修事項と範例問題Ⅰ（人・社会・生活と福祉編）』，株式会社みらい，99-146，2009，8.
- 3) 櫻井 潤，根岸毅宏，渋谷博史：「年金・医療・介護の社会保険」，渋谷博史編『日本の福祉国家財政』，学文社，178-229，2008，12.

(2) 論文

- 1) 鎌田 禎子：「近視の語り手——Edgar Allan Poeの“The Spectacles”をめぐって」，『北海道医療大学人間基礎科学論集』第34号，A19-27，2008，11.
- 2) Eiko Toyota, Daisuke Iyaguchi, Haruo Sekizaki, Midori Tateyama, Kenneth K. S. Ng : A structural comparison of three isoforms of anionic trypsin from chum salmon (*Oncorhynchus keta*), Acta Crystallographica Section D Biological Crystallography D65, 724-732, 2009.

(3) その他論文

- 1) 鎌田 禎子：（書評）本村浩二「ウェルティのクエンティン——『響きと怒り』第二章と『黄金の林檎』第五章」，『北海道アメリカ文学』25号，87-88，2009，3.
- 2) 館山 碧：「植物の学名，英名，和名（18）」，北海道医療大学人間基礎科学論集，第34号，A89-A122，2008.
- 3) 館山 碧：「植物の学名，英名，和名（19）」，北海道医療大学人間基礎科学論集，第34号，A123-A152，2008.
- 4) Tarnoff, Howard N. : Essay Monogram Series, Comparative Issues of North America and Japan, Hoppoken Quarterly Journal, Autumn Issue, 145, 50-51, 2008, 10.

- 5) Tarnoff, Howard N. : Essay Monogram Series, Comparative Issues of North America and Japan, Hoppoken Quarterly Journal, Winter Issue, 146, 54-55, 2009, 1.
- 6) Tarnoff, Howard N. : Essay Monogram Series, Comparative Issues of North America and Japan, Hoppoken Quarterly Journal, Summer Issue, 148, 51-52, 2009, 8.

(4) 学会発表

- 1) 須田 力，森田 勲：「北海道の高校における除雪ボランティア」，雪氷研究大会，2009，9.
- 2) 森田 勲，山口明彦，須田 力：「成年男子におけるショベル除雪時の呼吸循環応答および作業成績」，第64回日本体力医学会大会，2009，9.

(5) 講演

- 1) 薄井 明：北海道社会福祉士会受験対策講座，北海道社会福祉士会，2008，10.
- 2) 薄井 明：北海道社会福祉士会受験対策講座，北海道社会福祉士会，2009，9.
- 3) 櫻井 潤：「アメリカの医療保障制度の現状と課題：市場と地域と日本の医療改革」，滝川三師会学術講演（北海道滝川市），2009，2. 13.
- 4) 森田 勲：「北国の生活と体力」，石狩市筋力アップ教室基調講演，石狩市，2008，11.
- 5) 森田 勲：「身体活動の重要性」，江別市健康づくり教育評価研修会講師，2008，12.
- 6) 森田 勲：「北国における身体活動について」，江別市健康づくり教育評価研修会講師，2009，1.
- 7) 森田 勲：「北国の生活と体力づくり」，当別町・新篠津村商工会広域連携事業講演会，2009，2.
- 8) 森田 勲：「積雪寒冷地における体力と健康」，柔整アスレチックトレーナーズ講演会，2009，2.

(6) 社会的活動

- 1) 櫻井 潤：「アメリカの貧困と医療」，日本放送協会（NHK）衛星放送（BS1）「きょうの世界：米格差社会が作りだした悲しみの丘『バイビーランド』」，2008，10. 22.
- 2) 森田 勲：「石狩市筋力アップ教室（1）～（12）」，石狩市，2008，11～2009，2.

臨床福祉学科

<臨床福祉政策学>

教授：椎谷 淳二, 鈴木 幸雄, 志渡 晃一,
石川 秀也
准教授：志水 幸, 佐々木明員
講師：佐藤 園美
助教：坂野 悦子

<医療福祉臨床学>

教授：中川 賀嗣, 向谷地生良, 白石 淳
准教授：長谷川 聡, 近藤 里美, 花澤 佳代,
大友 芳恵
講師：丹野 和子, 志水 朱
助教：高橋 由紀, 池森 康裕

(1) 著書

- 1) 池森 康裕：社会福祉制度の概要，川村匡由他編著，社会保障論，久美出版，2009. 3.
- 2) 向谷地生良：退院支援・べてる式DVD付，川村敏明（監），医学書院，2008. 10.
- 3) 向谷地生良：統合失調症を持つ人の援助論一人とのつながりを取り戻すために，金剛出版，2008. 12.
- 4) 向谷地生良：新精神保健福祉士養成講座・精神保健福祉援助演習，青木聖久・岩崎香・住友雄資（編），精神保健福祉士養成校協会編，213-217. 中央法規出版，2009. 2.
- 5) 向谷地生良：ゆるゆるスローなべてるの家，大月書店，2009. 3.
- 6) 向谷地生良：レッツ当事者研究，2009. 6.
- 7) 向谷地生良：街角のセーフティーネット・精神障害者の生活支援と精神科クリニック，高木俊介，岩尾俊一郎（編），批評社，2009. 8.
- 8) 佐藤園美：更生保護制度の教育計画，川廷宗之（編）社会福祉士養成教育方法論，弘文堂，200-204，2008. 12.

(2) 論文

- 1) 池森康裕：介護過程教育方法に関する一考察－福祉学生の介護過程実践に着目して－國學院短期大学紀要，第26巻，91-102，2009. 3.
- 2) 中川賀嗣：失行の新しい分類とADL障，MB Monthly Rehabilitation. 99；23-35，2008.
- 3) Nakagawa Y, Otski M, Tajima Y, Matsumoto A : Inability of voluntary movement of left hand with lesion of corpus callosum. Journal of Neurology. 256 : S185,

2009.

- 4) Otsuki M, Nakagawa Y, Mori F, Tobioka H, Hoshida H, Tatezawa Y, Tanigawa Y, Takahashi I, Sakushima K, Yabe I, Sakaki H, Wakabayashi K : Progressive Foix-Chavany-Marie syndrome : a clinico-pathological investigation. 2009
- 5) 中川賀嗣：失行症－「みること」「さわること」とのかかわりへ－. 高次脳機能研究，29：206-215，2009.

(3) その他の論文

- 1) 萩原悦子・中川賀嗣・西 基：認知症高齢者における睡眠ケアの課題についての文献検討. 平成19年度文部科学省学術研究高度化推進事業学術フロンティア推進事業 研究成果報告書，2008.
- 2) 中川賀嗣：意識変化の行為・動作への影響－動作分類指標の作成とその有用性評価，平成19年度文部科学省学術研究高度化推進事業学術フロンティア推進事業 研究成果報告書，2008.

(4) 学会発表

- 1) 中川賀嗣：意味記憶の障害について. 平成20年度北海道神経心理懇話会，2007. 10. 18, 札幌.
- 2) 中川賀嗣・大槻美佳・田島康敬・松本昭久：左手一側性に観察された随意動作の障害について. 第32回日本神経心理学会総会. 平成20年9月18日東京
- 3) 中川賀嗣・大槻美佳・松本昭久：複数物品の系列的操作を支える能力. 第32回日本神経心理学会総会. 2008. 9. 18. 東京.
- 4) 高倉祐樹・大槻美佳・中川賀嗣・大澤朋史：左皮質下損傷により自由会話と復唱・音読の構音に解離を認めた一例. 第32回日本神経心理学会総会. 2008. 9. 18. 東京.
- 5) 大槻美佳・中川賀嗣・緒方昭彦・保前秀希・高橋育子・矢部一郎・西澤正豊・佐々木秀直：Slowly progressive Foix-Chavany-Marie syndromeと進行性非流暢性失語の症候. 第32回日本神経心理学会総会. 2008. 9. 18. 東京
- 6) 中川賀嗣：シンポジウム技.「失行」. 第32回日本高次脳機能障害学会総会. 2008. 11. 19. 松山.
- 7) 中川賀嗣・大槻美佳・上杉春雄・秋野 実・斎藤久：体性感覚の行為・動作への関与. 第32回日本高次脳機能障害学会総会. 2008. 11. 19. 松山.
- 8) 澤村大輔・渡辺克樹・後藤貴浩・戸島雅彦・中川賀嗣：観念失行と観念運動失行の症状分類に対する一考察～病巣からSPTA結果を分析して. 第32回日本高次脳機能障害学会総会. 2008. 11. 19. 松山.

- 9) Nakagawa Y, Otski M, Tajima Y, Matsumoto A : Inability of voluntary movement of left hand with lesion of corpus callosum. 19th Meeting of the European Neurological Society, Milan, Italy. 20-24 June, 2009.
- 10) Otsuki M, Nakagawa Y, Mori F, Tobioka H, Hoshida H, Tatezawa Y, Tanigawa Y, Takahashi I, Sakushima K, Yabe I, Sakaki H, Wakabayashi K : Progressive Foix-Chavany-Marie syndrome : a clinico-pathological investigation. 19th Meeting of the European Neurological Society, Milan, Italy. 20-24 June, 2009.

(5) 講演

- 1) 池森康裕：日常生活においてリハビリ・介護予防について一寝たきりにならないための介護一，当別町有料老人ホーム公楽苑職員セミナー，2009. 5. 21.
- 2) 池森康裕：ボランティア概論，カウンセリング研修講座3級，2009. 6. 27.
- 3) 池森康裕：ヒヤリハット：高齢者ヒヤリハット観察力のつけ方，当別町有料老人ホーム公楽苑職員セミナー，2009. 9. 24.
- 4) 佐藤園美：スクールソーシャルワークの理論ー精神保健福祉士の視点からー，スクールソーシャルワークセミナーinながの，2008. 10.
- 5) 中川賀嗣：高次機能（失行）の見方，平成20年度北海道言語聴覚士会北網圏リハビリテーション研修会，2008. 11. 8. 北見.
- 6) 中川賀嗣：言語聴覚士のための行為障害の見方，福島県言語聴覚士研修会，2009. 3. 22郡山.
- 7) 中川賀嗣：精神科症状とまちがわれやすい器質性症状，さっぽろ香雪病院研修会，2009. 2. 20.

(6) 社会活動

- 1) 池森康裕：滝川市保健医療福祉推進員 平成18年3月～平成21年3月
- 2) 池森康裕：滝川市要介護認定審査委員 平成19年4月～平成21年3月
- 3) 向谷地生良
・北海道精神保健福祉審議会委員
・介護保険等不服申し立て審査会委員
・北海道地域生活支援センター権利擁護事業審査委員
・当別町障害者福祉計画策定委員長
・当別町障害者自立支援法審査会委員
- 4) 中川賀嗣：認知症フレンドシップサポーター研修会 講師2009年5月16日札幌
- 5) 中川賀嗣：「老年期を生きる人の理解」音楽療法の基礎「高次脳機能障害」2008. 11. 16. 札幌.
- 6) 中川賀嗣：

平成20年

- ・ psychiatry and clinical neurology 英文査読 1 件
- ・ 高次脳研究査読 1 件
- ・ 北海道医療大学看護福祉学部査読 1 件

平成20年

- ・ psychiatry and clinical neurology 英文査読 1 件
- ・ 神経心理学査読 1 件
- ・ 第32回日本高次脳機能障害学会総会運営委員 2008. 11. 19.
- ・ ラジオ河原多恵子の夕刊北海道、特集「認知症」出演，2009. 6. 5. 札幌.

看護学科

生命基礎科学講座

教授：倉橋 昌司，小林 正伸，佐々木重幸
西 基

(1) 著書

- 1) 倉橋昌司：川廷宗之編，社会福祉養成教育方法論，弘文堂，72-76，2008，11.
- 2) 久繁哲徳，西 基：障害者の権利. p676-677 応用倫理学事典，加藤尚武編 東京，丸善，2008.
- 3) 西 基. ノーマライゼーション. p680-681 応用倫理学事典，加藤尚武編，東京，丸善，2008.
- 4) 西 基，久繁哲徳：保健・医療・福祉の統合. p 676-677，応用倫理学事典，加藤尚武編，東京，丸善，2008.
- 5) 三宅浩次，西 基：北海道における主要死因の概要6. 札幌，北海道健康づくり財団，2008.
- 6) 高橋茂樹，豊澤隆弘，西 基：STEP公衆衛生第1 1版. 東京，海馬書房，2008.
- 7) 西 基，豊澤隆弘：保健師国家試験のためのスキルアップ・ブック2009年版. 東京，海馬書房，2008.
- 8) 武田武夫，畑江芳郎，西 基. STEP小児科 第2版. 東京，海馬書房，2009.
- 9) 西 基，豊澤隆弘：保健師国家試験のためのスキルアップ・ブック2010年版. 東京，海馬書房，2009.

(2) 論文

- 1) Chen J, Kobayashi M, Darmanin S, Qiao Y, Gully C, Zhao R, Kondo S, Wang H, Wang H, S-C Yeung S-C

- and Lee M-H : Hypoxia-Mediated Up-Regulation of Pim-1 Contributes to Solid Tumor Formation, *Am J Pathol.* 175 : 400-11, 2009.
- 2) Chen J, Kobayashi M, Darmanin S, Qiao Y, Gully C, Zhao R, Yeung SC, Lee MH. : Pim-1 plays a pivotal role in hypoxia-induced chemoresistance. *Oncogene.* 28 : 2581-92, 2009.
 - 3) Nakajima S, Niizeki H, Tada M, Nakagawa K, Kondo S, Okada F, Kobayashi M, Trichostatin A with adenovirus-mediated p53 gene transfer synergistically induces apoptosis in breast cancer cell line MDA-MB-231, *Oncology Report.* 22 : 143-148, 2009.
 - 4) Junichiro Takahashi, Yutaka Wakamatsu, Jun Okude, Tsuyoshi Kanaoka, Toshihiro Gohda, Youichi Sanefuji, Shigeyuki Sasaki, Yoshiro Matsui : Maximum aortic diameter as a simple predictor of acute type B aortic dissection. *Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery* 14(5) : 303-310, 2008.
 - 5) Akihito Watanabe, Masanobu Taniguchi, Hitoshi Tsujie, Masao Hosokawa, Masahiro Fujita, Shigeyuki Sasaki : The value of narrow band imaging for early detection of laryngeal cancer. *European Archives of Oto-Rhino-Laryngology.* 266(7) : 1017-23, 2009
 - 6) Takashi Kunihara, Kenji Iizuka, Shigeyuki Sasaki, Norihiko Shiya, Yoshiro Matsui : Optimal proportions of gelatin-resorcin-formalin components in aortic surgery. *European Journal of Cardiothoracic Surgery (in press)* 2009
 - 7) 西 基 : 肥満と生活リズム. *チャイルドヘルス* 11 : 97-100, 2008
 - 8) 西 基, 三宅浩次 : 朝食摂取と勤労者のメンタルヘルス. *北海道医療大学看護福祉学部学会雑誌* 4 : 79-80, 2008
 - 9) 西 基, 三宅浩次 : メンタルヘルスに関する産業医の意識. *北海道医報* 7 : 10-11, 2008.
 - 10) 西 基 : 死亡率とReproductionの観点からみたマスキングのあり方, *小児外科* 40 : 1039-1042, 2008
 - 11) 花井潤師, 田上泰子, 阿部敦子, 太田 優, 福士勝, 矢野公一, 藤田晃三, 西 基, 長 祐子, 飯塚 進, 内藤春彦 : 18か月マスキングの現状 (札幌市), *小児外科* 40 : 1039-1042, 2008
 - 12) 西 基 : 札幌市における放火の疫学. *厚生*の指標 56 : 30-33, 2009.
 - 13) 西 基 : わが国の主要都市における放火と気象条件の疫学的検討. *近代消防* 47 (5) : 68-69, 2009.
 - 14) 西 基 : 放火と気象条件の疫学的関連性. *近代消防* 47 (6) : 70-72, 2009
- (3) その他の論文
 - 1) 志水 幸, 志渡晃一, 倉橋昌司, 宮本雅央, 早川明, 鳥谷綾郁, 蒲原 龍 : 本学新生生におけるライフスタイルと健康感に関する研究(第8報), *北海道医療大学看護福祉学部紀要*, 15, 31-38, 2008, 12.
 - 2) 花井潤師, 太田 優, 田上泰子, 阿部敦子, 杉町安紀, 福士 勝, 矢野公一, 西 基, 飯塚 進, 内藤春彦 : 札幌市における1歳2か月児の神経芽細胞腫スクリーニング結果. *札幌市衛生研究所年報* 35 : 53-56, 2008.
 - 3) 三宅浩次, 西 基, 佐藤広和, 川崎能道 : 平成19年度 産業保健推進センター調査研究, *健康診断データの有効利用に関する研究*. 北海道産業保健推進センター 2008.
 - (4) 学会発表
 - 1) Akihito Watanabe, Masanobu Taniguchi, Hitoshi Tsujie, Masahiro Fujita, Shigeyuki Sasaki : The importance of early detection of superficial carcinoma in head and neck. 台湾耳鼻咽喉科医学会第85回学術講演会, Tai Pei, Taiwan, 2008, 11
 - 2) Nishi M : Mass screening for neuroblastoma and its mortality in Japan. *Advances in Neuroblastoma Research*, Chiba, Japan May 21-24, 2008
 - 3) Satge D, Sasco AJ, Nishi M, Culine S, Rethore MO : Awareness for testicular cancer in boys and men with intellectual disability. 13th world Congress of International Association for the Scientific Study of Intellectual Disabilities. August 25-30 2008, Cape Town, South Africa. *J Intell Disab Res* 2008 ; 8-9 : 752.
 - (5) 講演
 - 1) 西 基 : JICA研修員 新生児マス・スクリーニングコース 医療経済学2008年12月4日 札幌市衛生研究所
 - 2) 西 基 : 札幌市教育委員会 札幌市の児童の体位と栄養 2009年1月23日 札幌市教育委員会
 - 3) 西 基 : 札幌市教育委員会 給食の危機管理 2009年3月11日 札幌市教育委員会
 - 4) 西 基 : 札幌市消防局 放火対策講演会 社会病理としての放火 2009年5月29日 札幌市消防局
 - 5) 西 基 : 札幌市学校給食栄養士会 栄養教諭研修会統計処理 2009年8月11日 ちえりあ

実践基礎看護学講座

教授：花岡眞佐子，平 典子
講師：伊藤祐紀子，福良 薫
助教：明野 伸次，佐藤 春香

(2) 論文

- 1) 花岡眞佐子：授業プラン「看護実践の構造を知る」の検討，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，5（1），75-81，2009，3.
- 2) 伊藤祐紀子：患者－看護師間の相互作用に見出される看護師の身体のある様－気がかりをもとに看護行為をしていくプロセスに焦点をあてて－，北海道医療大学大学院看護学専攻 博士論文，2009，3.

(3) その他の論文

- 1) 福良 薫：（アウトカム別フローチャートでわかる今すべき看護援助この時期これをすれば回復が違う，次の病期がラクになる）食べる，Brain Nursing 夏季増刊号，p187-211，2009（，8）
- 2) 福良 薫，佐々木栄子，野川道子：中範囲理論の看護実践での活用 障害受容・疾病認識理論の看護実践への活用（1），看護技術，55（8），p878-882，2009（，7）
- 3) 福良 薫：（先輩ナース必携 脳神経外科新人ナース指導育成マニュアル 現場で使えるエビデンスがわかるQ&A）症状・病態別看護をわかりやすく教えよう顔面神経麻痺，Brain Nursing 春季増刊，p160-168，2009（，2）
- 4) 福良 薫：（先輩ナース必携 脳神経外科新人ナース指導育成マニュアル 現場で使えるエビデンスがわかるQ&A）症状・病態別看護をわかりやすく教えよう嚥下障害，Brain Nursing 春季増刊，p169-179，2009（，2）
- 5) 福良 薫：（先輩ナース必携 脳神経外科新人ナース指導育成マニュアル 現場で使えるエビデンスがわかるQ&A）症状・病態別看護をわかりやすく教えよう視野障害，Brain Nursing 春季増刊，p207-212，2009（，2）

(4) 学会発表

- 1) 鳴井ひろみ，本間ともみ，沼田享子，平 典子：外来がん化学療法を受ける患者の日常生活上のニーズ．第23回日本がん看護学会学術集会，那覇市，2009，2.
- 2) 鳴井ひろみ，沼田享子，本間ともみ，平 典子：外

来がん化学療法を受ける患者の家族の日常生活上のニーズ．第23回日本がん看護学会学術集会，那覇市，2009，2.

- 3) 西村歌織，川村三希子，竹生礼子，平 典子：食道がんで手術を受けた患者の生活における疎外感－2名のインタビューから－．北海道医療大学看護福祉学部学会第6回学術大会，札幌市，2009，9，
- 4) 福良 薫：身体機能障害を抱える脳卒中患者の生活の再構築の体験，第35回日本看護研究学会学術集会，横浜市，2009，8.
- 5) 福良 薫他：摂食・嚥下アプローチにおける課題の検討－改善のみられないケースに焦点を当てて－，第36回日本脳神経看護研究学会，札幌市，2009，9.
- 6) 林 裕子，日高紀久江，福良 薫，原川静子，紙屋克子：用手微振動による便秘対処の看護実践効果，第36回日本脳神経看護研究学会，札幌市，2009，9.
- 7) 明野伸次：血圧測定技術における学生の行為の特徴－身体性・順序性の観点から－，北海道医療大学看護福祉学部学会 第6回学術大会，札幌市，2009，9.

(5) 講演

- 1) 花岡眞佐子：「北海道医療大学看護福祉学部の教育方針・臨地実習に期待すること」北海道大学病院看護部臨地実習指導者研修，札幌市，2009，4.
- 2) 平 典子：「家族ケア」がんにおける質の高い看護師養成研修，青森市，2008，12.
- 3) 平 典子：「事例を研究的視点でまとめるとは」北海道大学病院看護部3年目研修，札幌市，2009，8.
- 4) 伊藤祐紀子：難病患者を支える多層システムの構築と広がり－「ラーニングの支援」に注目して－，シンポジウム指定討論者，日本質的心理学会 第6回大会，2009，9.
- 5) 福良 薫他：フィジカルアセスメントセミナー，脳神経看護研究学会北海道部会教育研修，札幌市，2008，10.

(6) 社会活動

- 1) 平 典子：北海道医療大学看護福祉学部学会6回学術大会長，札幌市，2009，9.
- 2) 伊藤祐紀子：北海道M-GTA研究会 合宿研修，小樽市，2009，8.
- 3) 伊藤祐紀子：北海道看護教員養成講習会，研究方法演習 講師，2009，6～8.
- 4) 伊藤祐紀子：釧路労災病院看護部看護研究講師，2009.
- 5) 福良 薫：「北海道東北地区国立病院機構・国立療

養所看護研究学会」北海道東北地区研究指導，札幌市，2008．9～12．

6) 福良 薫：静和会グループ看護研究発表会講評，札幌市，2009，3．

地域保健看護学講座

(老年看護学)

教授：井出 訓，山田 律子

准教授：萩野 悦子

助教：内ヶ島伸也

(地域看護学)

准教授：工藤 禎子，桑原 ゆみ

講師：竹生 礼子

助教：明野 聖子，川添恵理子，佐藤美由紀

(精神看護学)

教授：阿保 順子

准教授：佐久間えりか

講師：笹木 弘美

助教：吉野加寿美

(老年看護学)

(1) 著書

1) 萩野悦子：第5章認知症ケアのためのケアマネジメント，日本認知症ケア学会監修，本間 昭（編集），認知症ケアのためのケアマネジメント，ワールドプランニング，77-98，2008，10．

(2) 論文

1) 金城 光，井出 訓，森 伸幸：日本版成人メタ記憶尺度MIA（The Questionnaire for Mwtamemory in Adulthood）短縮版開発のための検討，社会情報学研究，17，2008．

2) 山田律子：認知症の人にみる摂食・嚥下障害の特徴とケアの方向性—認知症の病型別特性を踏まえて，認知症ケア事例ジャーナル，1（4），428-436，2009．

3) 内ヶ島伸也：認知症高齢者の日常生活ケアに関わる「選択の表明」能力と「論理的思考」能力の特徴，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，5（1），39-47，2009．

(3) その他の論文

1) 井出 訓：BPSDの医療と看護，臨床看護，35

（7），1005-1012，2009．

2) 井出 訓：認知症サポートの輪を広げる—認知症フレンドシップクラブ，月刊福祉，92（9），74-77，2009．

3) 井出 訓：認知症フレンドシップクラブ，現代のエスプリ，507，61-71，2009．

4) 山田律子：認知症の人の摂食・嚥下とケア，認知症ケア実践専門誌ぐるケア，14，35-38，2009．

5) 山田律子，他：平成20年度高齢者の胃ろう閉鎖，膀胱留置カテーテル抜去を安全かつ効果的に実施するためのアセスメント・ケアプログラムの開発に関する調査研究事業，平成20年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金研究成果報告書（研究班長：北川公子），2009．

6) 萩野悦子：認知症の長期経過とケア，老年精神医学雑誌，20（6），646-650，2009．

7) 内ヶ島伸也：意思決定能力の評価—看護の役割，日本認知症ケア学会誌，8（1），62-67，2009．

(4) 学会発表

1) 井出 訓，内ヶ島伸也，大久保幸積：Dementia Friendship Club：A Trial for Developing a Community System for People with Dementia in Japan，19th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics，Paris，2009（，7）．

2) Yamada R，Chiba Y，Uchigashima S：Factors determining feeding methods in dysphagic elderly with dementia in Japan，Dysphasia Research Society，New Orleans，US，2009（，3）．

3) 山田律子，千葉由美，北川公子，小野塚元子，鳥田美紀代，坂井志麻，長瀬亜岐：介護老人保健施設および療養病床において胃瘻離脱に成功した高齢者の特徴，第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術集会，名古屋，2009（，8）．

4) 千葉由美，坂井志麻，長瀬亜岐，山田律子，北川公子：療養病床における胃瘻栄養法の離脱への取り組みの現状，第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術集会，名古屋，2009（，8）．

5) 堀籠はるえ，山田律子，井出 訓：高齢者の恋愛・性に対する認識—年代・性別による比較，日本老年社会学会第51回大会，横浜，2009（，6）．

6) 寺下いずみ，山田律子，井出 訓：手術目的で入院した大腿骨頸部骨折高齢者の状態像の変化—認知症高齢者と認知症のない高齢者との比較から—，日本老年看護学会第13回学術集会，金沢，2009（，11）．

7) 堀籠はるえ，山田律子，井出 訓：高齢者の性の実態と社会活動との関連，日本老年看護学会第13回学

- 術集会, 金沢, 2009 (, 11).
- 8) 横山晃子, 山田律子, 井出 訓: 高血圧治療中の在宅高齢者における未服薬の実態とその関連要因, 日本老年看護学会第13回学術集会, 金沢, 2009 (, 11).
 - 9) 北川公子, 千葉由美, 山田律子, 他: 高齢者の胃ろう閉鎖を安全かつ効果的に実施するためのケアプロトコル開発に関する調査研究, 日本老年看護学会第13回学術集会, 金沢, 2009 (, 11).
 - 10) 飯田貴映子, 中島紀恵子, 酒井郁子, 諏訪さゆり, 大塚真理子, 坂井さゆり, 得居みのり, 新山真由美, 萩野悦子, 藤田冬子, 淵田英津子, 松澤有夏, 渡辺みどり, 高山紘子: 老人保健施設入所者の生活リズム障害へのアセスメントとケアの概念化, 日本老年看護学会第13回学術集会, 金沢, 2009 (, 11).
 - 11) 酒井郁子, 諏訪さゆり, 飯田貴映子, 根本敬子, 岩鶴早苗, 遠藤淑美, 大塚真理子, 丸山 優, 坂井さゆり, 萩野悦子, 人見裕江, 淵田英津子, 渡辺みどり, 松澤有夏, 渡邊智子: 生活リズム障害ケアプロトコルの開発と臨床適用, 日本老年看護学会第14回学術集会, 札幌, 2009 (, 9).
 - 12) 遠藤淑美, 坂井さゆり, 酒井郁子, 諏訪さゆり, 萩野悦子, 飯田貴映子, 根本敬子, 岩鶴早苗, 大塚真理子, 丸山 優, 人見裕江, 淵田英津子, 松澤有夏, 渡邊智子, 渡辺みどり: 生活リズム障害ケアプロトコルVer. 1の臨床適用にむけた課題—エキスパートパネルの結果から—, 日本老年看護学会第14回学術集会, 札幌, 2009 (, 9).
 - 13) 萩野悦子, 酒井郁子, 諏訪さゆり, 根本敬子, 飯田貴映子, 岩鶴早苗, 遠藤淑美, 大塚真理子, 丸山優, 坂井さゆり, 人見裕江, 淵田英津子, 渡辺みどり, 松澤有夏, 渡邊智子: 生活リズム障害の発生状況と背景要因の分析—生活リズム障害ケアプロトコルVer. 2の開発にむけた調査から—, 日本老年看護学会第14回学術集会, 札幌, 2009 (, 9).
 - 14) 飯田貴映子, 酒井郁子, 諏訪さゆり, 萩野悦子, 根本敬子, 岩鶴早苗, 遠藤淑美, 大塚真理子, 丸山優, 坂井さゆり, 人見裕江, 淵田英津子, 渡辺みどり, 松澤有夏, 渡邊智子: 長期ケア施設入所者の薬物使用に関する実態調査とケアプロトコルの必要性の検討, 日本老年看護学会第14回学術集会, 札幌, 2009 (, 9).
 - 15) 酒井郁子, 飯田貴映子, 根本敬子, 諏訪さゆり, 遠藤淑美, 坂井さゆり, 萩野悦子, 岩鶴早苗, 大塚真理子, 丸山 優, 人見裕江, 淵田英津子, 松澤有夏, 渡邊智子, 渡辺みどり生活リズム障害ケアプロトコルVer. 1の長期ケア施設入居者への適用, 日本老年看護学会第14回学術集会, 札幌, 2009 (, 9).
 - 16) 諏訪さゆり, 酒井郁子, 根本敬子, 飯田貴映子, 遠藤淑美, 坂井さゆり, 人見裕江, 渡辺みどり, 松澤有夏, 岩鶴早苗, 大塚真理子, 丸山 優, 萩野悦子, 淵田英津子, 渡邊智子: 生活リズム障害ケアプロトコル導入に向けた職員研修の効果, 日本老年看護学会第14回学術集会, 札幌, 2009 (, 9).
 - 17) 根本敬子, 酒井郁子, 飯田貴映子, 諏訪さゆり, 萩野悦子, 内野良子, 大津一枝, 亀井政宏, 片平 壘, 立花みゆき: 介護老人保健施設における生活リズム障害ケアプロトコル導入への研究者の支援と課題, 日本老年看護学会第14回学術集会, 札幌, 2009 (, 9).
 - 18) 内ヶ島伸也: 認知症高齢者の日常生活ケアに関わる「選択の表明」能力と「論理的思考」能力の特徴, 北海道医療大学看護福祉学部学会第6回学術大会, 札幌, 2009 (, 9).
- (5) 講演
- 1) 井出 訓, 高橋正実, 松島公望, 河野直子, 大村哲夫, 岡本麗子: ミニシンポジウム「臨床におけるスピリチュアリティ: ケアの現場から見えてくるもの」, 第51回日本老年社会科学会, 横浜, 2009 (, 6).
 - 2) 井出 訓: 学術集会長講演「かかわりへと向かうまなざし」, 日本老年看護学会第14回学術集会, 札幌, 2009 (, 9).
 - 3) 山田律子: 認知症の方に対する食事ケア, 日本通所ケア研究会, 福山市, 2008 (, 12).
 - 4) 山田律子: シンポジウムⅡ基調講演 「認知症の病型別にみた摂食・嚥下障害の特徴と食事ケア」, 第20回日本老年歯科医学会総会・学術集会, 横浜, 2009 (, 6).
- (6) 社会活動
- 1) 井出 訓: NPO高齢者医療研機構「地域における認知症対応実践講座」講師, 札幌, 2008 (, 10).
 - 2) 井出 訓: 石狩市体育協会 体力トレーニング教室「頭の働きと認知機能」講師, 石狩市, 2008 (, 11).
 - 3) 井出 訓: 医療法人溪人会西円山病院「高齢者のターミナルケアを考える」講師, 札幌, 2008 (, 12).
 - 4) 井出 訓: 千歳保健所「頭の働きともの忘れ」講師, 千歳市, 2009 (, 3).
 - 5) 井出 訓: 恵庭市保健センター「認知症にやさしい街づくり」講師, 恵庭市, 2009 (, 3).
 - 6) 井出 訓: 日本老年看護学会第14回学術集会 学術

集会長, 2009 (, 9)

- 7) 山田律子: 地域ケアサービス事業者等技術育成講座「認知症ケアを学ぼう～施設における認知症ケアを中心に」, 北海道上川保健福祉事務所名寄地域保健部主催, 名寄, 2008 (, 10).
- 8) 山田律子: 日本看護研究学会理事・査読委員
- 9) 山田律子: 日本老年看護学会評議員・査読委員
- 10) 山田律子: 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会評議員・査読委員
- 11) 山田律子: 日本認知症ケア学会評議員・査読委員
- 12) 山田律子: 当別町介護認定審査会委員, 当別町.
- 13) 山田律子: 当別町障害程度区分認定審査会委員, 当別町.
- 14) 山田律子: 日本老年看護学会第14回学術集会事務局長.
- 15) 山田律子: 認定看護師認定実行委員(認知症看護分野)副委員長.
- 16) 山田律子: 認定看護師教育基準カリキュラム検討委員(認知症看護分野)委員長.
- 17) 山田律子: 平成21年度医療法人溪仁会西円山病院看護部研修「看護研究の進め方」講師, 札幌, 2009 (, 6).
- 18) 山田律子: 認知症高齢者の行動の理解と対応, 平成21年度第4回当別町地域ケア会議全体会講演, 当別, 2009 (, 7).
- 19) 山田律子: 平成21年度日本看護協会看護研修学校認知症看護認定看護師講師, 東京, 2009 (, 8)
- 20) 山田律子: 平成21年度北海道看護協会看護研究一調査研究一研修会, 札幌, 2009 (, 8).
- 21) 萩野悦子: 平成21年度看護教員養成講習会, 「研究方法」講師, 札幌, 2009 (, 6).
- 22) 内ヶ島伸也: 札幌市月寒公民館 創造学園「認知症を知ろう・考えよう」講師, 札幌, 2008 (, 9).
- 23) 内ヶ島伸也: 認知症介護研究・研修仙台センター認知症介護市民講座フォーラム「認知症になっても安心して暮らせる街づくり」講師, 仙台, 2008 (, 10).
- 24) 内ヶ島伸也: 平成21年度 滝川市立病院看護部「看護研究研修」講師, 滝川, 2008 (, 8-9).

(地域看護学)

(1) 著書

- 1) 竹生礼子: 第Ⅶ章看護師の技とコツ 4. 家族への援助, 並木昭義監修, 川股知之編集: すぐに役立つがん患者緩和ケアにおけるコメディカルの技とコツ, 真興交易(株)医書出版部, 188-195, 2009. 3

(2) 論文

- 1) Y. Kuwabara, J. Johnson: Mentorship in the Japanese Nursing Education Community. *Asian Nursing Research*, 3(2), 81-89, 2009.
- 2) 竹生礼子: 日本における1990年以降の在宅死と病院死に関連する要因の文献的検討, *日本地域看護学会誌*, 11 (1), 87-92, 2008.
- 3) 長嶋聖子: ダウン症乳児の母親が父親に期待する役割, *日本地域看護学会誌*, 11 (1), 68-75, 2008.
- 4) 澤田あずさ, 明野聖子, 吉森友香, 工藤禎子: 1歳6ヵ月児の父親の労働時間・育児参加時間からみた母親の育児幸福感, *北海道医療大学看護福祉学部学会誌*, 5 (1), 13-21, 2009.

(3) その他の論文

- 1) 桑原ゆみ: 生活習慣病予防を目的とした個別的継続運動・栄養プログラムの経年的効果評価研究, 平成18~20年度科学研究費補助金研究成果報告書, 2009.
- 2) 佐藤美由紀, 山田 薫, 吉田明弘, 吉田郭子, 小野寺さやか, 河端麻実, 藤田喜枝子, 斎藤恭平, 芳賀博: 住民主体の「高齢者ささえあい地図」づくりを通じた地域のエンパワメントとその支援, *保健師ジャーナル*, 65 (3), 224-232, 2009.

(4) 学会発表

- 1) Y. Kuwabara: Evaluation of individualized, physical exercise and nutritional intervention program among community-dwelling participants, The 4th International Conference on Community Health Nursing Research, Adelaide, Australia, 2009.8.
- 2) 桑原ゆみ: 生活習慣病予防を目的とした個別的運動・栄養保健指導による参加1年後の効果, 第14回日本糖尿病教育・看護学会, 札幌, 2009. 9.
- 3) 竹生礼子, 工藤禎子, 若山好美, 佐藤美由紀, 明野聖子, 桑原ゆみ: 認知症高齢者が暮らしやすい地域づくりをめざすボランティア(認知症キャラバンメイト)の市町村規模別にみた活動状況と意向, 第12回日本地域看護学会学術集会, 千葉, 2009. 8
- 4) 竹生礼子, 工藤禎子, 若山好美, 佐藤美由紀, 明野聖子, 桑原ゆみ: 認知症高齢者が暮らしやすい地域づくりをめざすボランティア活動の有無に関連する要因; 認知症キャラバンメイトの活動状況からの検討, 日本老年看護学会, 札幌, 2009. 9.
- 5) 川添恵理子, 工藤禎子, 竹生礼子, 明野聖子, 佐藤美由紀: 退院計画に関する研究の動向, 第6回北海道医療大学看護福祉学部学会, 札幌, 2009. 9.

- 6) 佐藤美由紀, 芳賀 博, 柴田 博, 斎藤恭平, 工藤 禎子: 北海道の農村における家庭内役割とQOLの関連, 第67回日本公衆衛生学会総会, 福岡, 2008. 11.
- 7) 斎藤恭平, 佐藤美由紀, 芳賀 博, 柴田 博: 在宅高齢者に対する健康づくり活動のプロセス, 第67回日本公衆衛生学会総会, 福岡, 2008. 11.
- 8) 若山好美, 工藤禎子, 竹生礼子, 佐藤美由紀: 認知症ボランティアの活動志向性とその関連要因, 認知症キャラバンメイト養成研修を受講したボランティアの調査から, 第13回日本在宅ケア学会, 大阪, 2009. 3.
- 9) 佐藤美由紀, 芳賀 博, 柴田 博, 工藤禎子, 斎藤恭平, 竹生礼子, 若山好美, 桑原ゆみ, 明野聖子: 農村における高齢者の地域組織加入とQOLの関連, 第51回日本老年社会科学会, 横浜, 2009. 6.
- 10) 佐藤美由紀, 芳賀 博, 工藤禎子, 竹生礼子, 明野聖子, 川添恵理子, 若山好美: 農村在宅高齢者における介護認定状況別家庭内役割の検討; 要支援・要介護者に焦点を当てて, 第6回北海道医療大学看護福祉学部学会, 札幌, 2009. 9.
- 11) 西村歌織, 川村三希子, 竹生礼子, 平 典子: 食道がんで手術を受けた患者の生活における疎外感—2名のインタビューから—. 北海道医療大学看護福祉学部学会第6回学術大会, 札幌市, 2009. 9.
- (5) 講 演
- 1) 工藤禎子: 当別町介護者とともに歩む会10周年記念講演, 「認知症の人と家族が望む暮らしを実現していくために」2009, 9. 16
- 2) 竹生礼子: 当別町ケアマネジャー連絡協議会主催・11月・12月定例会「事例検討の技法・効果的な進め方について」講師, 2008. 11. 12・12. 10, 当別町総合保健福祉センター
- 3) 竹生礼子: 医療法人溪仁会・社会福祉法人南静会, 訪問看護ステーション看護師対象研修「在宅におけるリスクマネジメント」講師, 2008. 10. 23, 札幌市西区
- 4) 川添恵理子: 「退院調整」看護師養成講習会, 国立病院機構看護研修センター, 2009, 8. 26, 仙台
- (6) 社会活動
- 1) 工藤禎子: 日本地域看護学会評議員・査読委員・第13回学術集会企画委員
- 2) 工藤禎子: 日本老年社会科学会査読委員
- 3) 工藤禎子: 日本在宅ケア学会査読委員
- 4) 工藤禎子: 北海道社会福祉施設に関する有識者会議委員
- 5) 工藤禎子: 江別市社会福祉審議委員
- 6) 工藤禎子: 当別町地域包括支援センター運営協議会委員
- 7) 工藤禎子: 北海道公衆衛生学会評議員
- 8) 桑原ゆみ: 平成21年度滝川市立病院看護部「看護研究研修」講師, 滝川市, 2009, 8-9.
- 9) 桑原ゆみ: 当別町国民健康保険運営協議会委員, 当別町, 2006, 10-現在.
- 10) 桑原ゆみ: 第14回日本糖尿病教育・看護学会学術集会企画委員, 2008, 7-現在.
- 11) 桑原ゆみ: とうべつ健康プラン21改訂版策定委員会委員, 当別町, 2009, 3-現在.
- 12) 桑原ゆみ: 当別町訪問指導計画連絡会委員, 当別町, 2009, 8-現在.
- 13) 桑原ゆみ: 高齢者のQOL向上に向けたポピュレーションアプローチ推進検討会委員, 北海道保健福祉部, 2009, 9-現在.
- 14) 桑原ゆみ: 北海道医療大学病院看護部主催, 「プライマリ・ナーシングとは」講師, 2009. 6.
- 15) 竹生礼子: 第4期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会委員, 2008. 7. 1~2009. 3. 31
- 16) 竹生礼子: 当別町共生型事業外部検討委員会委員, 2009. 3~現在
- 17) 竹生礼子: 第14回日本看護サミット北海道'09運営委員会運営委員, 2008. 10~2009. 10
- 18) 竹生礼子: 札幌ホスピス・緩和ケアネットワーク幹事・ナースコンサルテーション事業, 2008~現在
- 19) 竹生礼子: 北海道緩和ケアに携わるナースのサポートネットワーク世話人, 2004~現在
- 20) 佐藤美由紀: 北海道公衆衛生学会評議員
- 21) 佐藤美由紀: 北海道ヘルスプロモーションネットワーク事務局
- (精神看護学)
- (1) 著 書
- 1) 佐久間えりか, 物質(アルコール、薬物)関連障害患者の看護, 井上智子・佐藤千史編: 病期・病態・重傷度からみた疾患別看護過程+病態関連図, p 1249~1261, 医学書院, 2008(, 12).
- 2) 阿保順子・佐久間えりか編, 統合失調症急性期看護マニュアル 改訂版, すびか書房, 2009(, 3).
- (2) 論 文
- 1) 吉野賀寿美: 統合失調症再発患者の回復過程を支える看護介入—自己洞察力に焦点を当てて—, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 5(1), 51-

57, 2009.

(3) その他の論文

- 1) 吉野賀寿美：外来に通院する統合失調症患者に対する社会復帰プログラム実施の効果，平成19～20年度科学研究費補助金（若手研究（スタートアップ））研究成果報告書，2009（，3）。

(4) 学会発表

- 1) 吉野賀寿美：Nursing intervention to enhance recognition and insight for outpatients with schizophrenia in Japan, HORATIO：European festival of psychiatric nursing, Malta, 2008（,11）

(6) 社会活動

- 1) 佐久間えりか：日本精神保健看護学会 理事。
- 2) 佐久間えりか：日本精神保健看護学会「看護の裁量権拡大に関する特別委員会」委員。
- 3) 佐久間えりか：平成20年度北海道介護予防市町村支援委員会 専門部会 委員。
- 4) 佐久間えりか：五稜会病院、講演会「精神医療の倫理について」講師，2008（，9）。
- 5) 佐久間えりか：当別町健康づくりセミナー、「こころの健康を保つためのコツ」講師，2008（，11）。
- 6) 佐久間えりか：独立行政法人国立病院機構 北海道看護研究学会，研究指導。
- 7) 佐久間えりか：札幌市立病院静療院，看護部研修，研究指導。
- 8) 佐久間えりか：千歳市民病院，看護部主催講演「看護研究の進め方」講師，2008（，4）。
- 9) 佐久間えりか：千歳市民病院，看護部主催講演「看護研究 量的研究の展開を考える」講師，2008（，9）。
- 10) 佐久間えりか：千歳市民病院、看護部主催講演「プレゼンテーションの進め方」講師，2008（，11）。
- 11) 佐久間えりか：千歳市民病院、看護部研修 研究指導 2008（，5～11）。
- 12) 笹木弘美：北海道医療大学看護福祉学部学会 編集委員，2009。
- 13) 笹木弘美：看護研究学会 論文指導，2009。
- 14) 笹木弘美：静療院看護部研究指導，2009。
- 15) 笹木弘美：千歳市民病院看護部看護部研究指導，2009。
- 16) 吉野賀寿美：NPO法人こころ理事兼相談員
- 17) 吉野賀寿美：静療院看護部研究指導，2009。
- 18) 吉野賀寿美：千歳市民病院看護部看護部研究指導，2009。

19) 吉野賀寿美：五稜会病院看護部看護部看護研究講師，2009（，5）。

20) 吉野賀寿美：外来に通院する統合失調症患者に対する社会復帰プログラム実施の効果，日本私立看護系大学協会研究セミナー 平成18年度若手研究者研究助成 研究成果発表会，東京，2009（，9）。

母子看護学講座

教授：三国 久美

准教授：伊藤 道子

講師：遠藤紀美恵，木浪智佳子，槌谷亜希子

助教：萬 美奈子

(1) 著書

- 1) 三国久美：第Ⅱ章小児の病気・事故の予防と健康増進（ヘルスプロモーション），二宮啓子・今野美紀編：小児看護学概論，南江堂，58-74，2009，4。

(3) その他の論文

- 1) 遠藤紀美恵，齋藤いずみ，伊藤道子，島谷友佳子，居島美穂，菊池静子：分娩の安全性に関する考察—病棟構成・看護体制・分娩数の異なる病院間での比較—，北海道母性衛生学会会報，第37号，5-7，2008。
- 2) 遠藤紀美恵，江崎絹枝，江口隆子，齋藤直美，葛田美穂子：北海道内の経験5年以内の看護教員が要望する研修内容，北海道看護教育研究会会報，No. 36，40-45，2009，3。
- 3) 島谷友佳子，居島美穂，菊池静子，齋藤いずみ，遠藤紀美恵，伊藤道子：分娩データの分析結果からみちびく助産師外来における検討事項，北海道母性衛生学会会報，第37号，34-37，2008。
- 4) 槌谷亜希子，篠木絵理，松島可苗，横井寿之，阿保順子：中学生を対象とした思春期ピアカウンセリング実践報告，北海道医療大学看護福祉学部紀要，No15，59-64，2008。

(4) 学会発表

- 1) 齋藤いずみ，伊藤道子，遠藤紀美恵，坂梨薫，成田伸，水流聡子：分娩時のサポートイブケアの測定方法とケア量に関する文献研究，第50回日本母性衛生学会，2009年9月，横浜。
- 2) 江崎絹枝，遠藤紀美恵，江口隆子，齋藤直美，葛田美穂子：北海道内の経験5年以内の看護教員が要望する研修内容，北海道看護教育研究会研究

会, 2009, 4.

- 3) 萬美奈子, 木浪智佳子, 三国久美, 廣瀬たい子, 草薙美穂: 育児でストレスがたまっていると感じたときの父母の対処法と効果—3歳児を持つ父母間の比較—, 第2回乳幼児保健学会, 2008, 11.
 - 4) Minako Yorozu, Chikako Kinami, Kumi Mikuni, Yumi Sawada: Ensuring a Sound Physique and Lifestyle Habits in Children: Rearers' Experience of Consultations and Suggestions, The 4th international conference on community health nursing research, August 2009, Adelaide South Australia.
- (6) 社会活動
- 1) 三国久美: 江別市立病院「看護研究実践コース研修」講師, 2008, 10~2009, 7.
 - 2) 三国久美, 木浪智佳子: 北海道社会保険病院「看護係長研修」講師, 2008, 10~2009, 9.
 - 3) 伊藤道子: 北海道母性衛生学会幹事総務.
 - 4) 遠藤紀美恵: 平成21年度北海道立根室高等学校「出前授業」講師, 2009, 7.
 - 5) 遠藤紀美恵: 北海道看護教育研究会会長.
 - 6) 植谷亜希子: 平成20年度札幌大谷中学校「性教育」講師, 札幌, 2008, 12.
 - 7) 植谷亜希子: 平成20年度札幌大谷高等学校「性教育」講師, 札幌, 2008, 12.

成人看護学講座

教授: 野川 道子

准教授: 館山 光子, 佐々木栄子

講師: 唐津 ふさ, 西村 歌織

助教: 雉子谷知子, 二本柳玲子, 堀籠はるえ

(1) 著 書

- 1) 野川道子: 佐藤栄子編: Mishelの不確かさ理論, 事例をとおしてやさしく学ぶ中範囲理論入門第2版, 日経研, 2009 (, 1).

(2) 論 文

- 1) 佐々木栄子: 肯定的自己概念の拡張を目指したパーキンソン病患者の支援プログラムの構築, 北海道医療大学看護福祉学研究科博士論文, 2008 (, 3).
- 2) 西村歌織: 喉頭全摘出術を受ける患者の状況認識, 日本がん看護学会誌, 23 (1), 44-52, 2009 (, 5).
- 3) 雉子谷知子: 植込み型除細動器 (ICD) 患者の状態

不安とその関連要因, 北海道医療大学看護福祉学部研究科修士論文, 2009.

(3) その他の論文

- 1) 野川道子: 障害受容・疾病認識のニューパラダイム⑤, 看護技術, 54 (12), 75-79, 2008 (, 11).
- 2) 佐々木栄子, 野川道子: 中範囲理論の看護実践での活用⑧ 障害受容・疾病認識理論の看護実践への活用 (2), 看護技術, 55 (9), 51-56, 2009 (, 8).
- 3) 佐々木栄子: ナーシングプロセスパーキンソン病【看護編】, Clinical Study, 30 (9), 13-31, 2009.
- 4) 中山ヒサ子, 佐々木栄子: 在宅ALS患者及び, 家族における音楽療法の有効性をさぐる~生体面, QOL評価など複数の方法を用いて~勇美記念財団在宅助成報告書, 2008 (, 3).
- 5) 後藤清恵, 西澤正豊, 中島 孝, 佐々木栄子: SEIQoL-DW法による神経難病患者と主介護者のQOL-SEIQoL-DWインデックスの変化とその検討一, 厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)分担研究報告書, 87-92, 2009 (, 3).
- 6) 館山光子, 野川道子: 障害受容・疾病認識のニューパラダイム④「Selderのライフ・トランジション理論」と「Kendall & Buysの適応の統合モデル」, 看護技術, 54 (11), 76-80, 2008 (, 10).
- 7) 館山光子, 雉子谷知子, 野川道子: 中範囲理論の看護実践での活用⑨「Finkの危機モデル」の看護実践への活用, 看護技術, 55 (10), 84-89, 2009 (, 9).
- 8) 畠中千文, 唐津ふさ: オレムのセルフケア不足理論の看護実践への活用 (2), 看護技術, 55 (2), 86-90, 2009 (, 2).
- 9) 伊藤加奈子, 唐津ふさ, 野川道子: 「Mishelの病気の不確かさ理論」の看護実践への活用 (1), 看護技術, 55 (6), 88-92, 2009 (, 5).
- 10) 西村歌織, 唐津ふさ, 野川道子: 「Mishelの病気の不確かさ理論」の看護実践への活用 (2), 看護技術, 55 (7), 88-92, 2009 (, 6).
- 11) 長谷佳子, 高橋奈美, 二本柳玲子, 野川道子: 「慢性疾患の病みの軌跡」看護モデルの活用 (1), 看護技術, 55 (3), 87-91, 2009 (, 3).
- 12) 高橋奈美, 長谷佳子, 二本柳玲子, 野川道子: 「慢性疾患の病みの軌跡」看護モデルの活用 (2), 看護技術, 55 (4), 91-95, 2009 (, 4).
- 13) 高木由希, 野川道子: 中範囲理論の看護実践での活用①, オレムのセルフケア不足理論の看護実践への活用 (1), 看護技術 55 (1), 87-91, 2009 (, 1).

(4) 学会発表

- 1) 野川道子, 館山光子, 二本柳玲子, 佐々木栄子, 唐津ふさ, 西村歌織, 雉子谷知子: 病気の不確かさ尺度(日本人用)の開発, 第3回日本慢性看護学会学術集会, 2009(, 7).
- 2) 野川道子, 雉子谷知子, 西村歌織, 佐々木栄子, 唐津ふさ: 日本の患者が認知する病気の不確かさ一筆記・インタビューからー, 第14回日本難病看護学会学術集会, 2009(, 8).
- 3) 佐々木栄子: 音楽療法を受けたALS患者の主観的QOLの変化—SEIQoL—DW法を用いての検討, 第14回日本難病看護学会学術集会, 2009(, 8).
- 4) 會田純子, 五十嵐美沙, 内田智美, 館山光子: 突発性難聴患者のコーピング様式による聴力改善度の比較, 第39回日本看護学会成人看護I学術集会, 2008(, 10).
- 5) 西村歌織, 川村三希子, 竹生礼子, 平典子: 食道がんで手術を受けた患者の生活における疎外感—2名のインタビューからー, 北海道医療大学看護福祉学部学会第6回学術集会, 2009(, 9).
- 6) 雉子谷知子: 植込み型除細動器(ICD)患者の不安, 第3回日本慢性看護学会学術集会, 2009(, 8).
- 7) 堀籠はるえ, 山田律子, 井出訓: 高齢者の性の実態と社会活動との関連, 第13回日本老年看護学会学術集会, 2009(, 11).
- 8) 堀籠はるえ, 山田律子, 井出訓: 高齢者の恋愛・性に対する認識—年代・性別による比較—, 日本老年社会科学会第51回大会, 2009(, 6).

(5) 講演

- 1) 野川道子: 日本看護研究学会 第19回北海道地方学術集会 2009年6月12日「病気の不確かさ理論」を臨床で活用する
- 2) 佐々木栄子: パーキンソン病友の会北海道支部「パーキンソン病の日常生活の留意点」, 2008(, 10).
- 3) 佐々木栄子: 北海道難病連室蘭支部「難病とともに生きる—持てる力を発揮するためのセルフマネジメントとソーシャルサポーター—」, 2009(, 8).

(6) 社会活動

- 1) 野川道子: 日本難病看護学会理事
- 2) 野川道子: 日本慢性看護学会理事
- 3) 野川道子: 日本私立系看護大学協議会理事
- 4) 野川道子: 日本看護科学学会評議員
- 5) 野川道子: 日本難病看護学会査読委員
- 6) 野川道子: 日本看護系大学協議会 専門看護師課程教育認定委員会委員

- 7) 野川道子: 日本看護協会 専門看護師認定委員会委員
- 8) 野川道子: 札幌医科大学医師及び歯科医師派遣対策委員
- 9) 佐々木栄子: 札幌厚生病院, 平成21年度臨床指導者研修 講師, 2009(, 5).
- 10) 佐々木栄子: 日本質的心理学会第6回大会 自主シンポジウム「語りと語り直し」企画, 話題提供者 2009(, 9).
- 11) 館山光子: 平成20~21年度 北海道看護協会学会委員
- 12) 館山光子: 平成20~21年度 日本救急看護学会 機関誌専任査読委員
- 13) 唐津ふさ: 平成21年度美唄労災病院看護部「看護師研修(4回シリーズ)」講師, 2008(, 10).
- 14) 唐津ふさ: 平成21年度手稲溪仁会病院看護部「看護研究」講師, 2009(, 7~).
- 15) 唐津ふさ: 平成21年度手稲溪仁会病院看護部「臨床指導者研修」講師, 2009(, 8).
- 16) 唐津ふさ: 北海道主催平成21年度看護教員養成講習会「看護理論」講師, 2009(, 8).
- 17) 唐津ふさ: 北海道主催平成21年度保健師助産師看護師等実習指導者講習会「看護教育課程(成人看護学)」講師, 2009(, 8).
- 18) 二本柳玲子: メディカル・ダンスムーブメント・セラピー勉強会 幹事, 2008(, 9~).
- 19) 堀籠はるえ: 地域健康づくりサポーター・Piece代表, 2009~.
- 20) 堀籠はるえ: ノルブリッツ北海道主催ウォーキング大会「高血圧について」講師, 2009(, 3).
- 21) 堀籠はるえ: 大麻あじさい会主催「糖尿病について」講師, 2009(, 5).
- 22) 堀籠はるえ: 野幌第一地域包括支援センター主催講話会「認知症について(1)」講師, 2009(, 8).
- 23) 堀籠はるえ: 野幌第一地域包括支援センター主催講話会「認知症について(2)」講師, 2009(, 9).

臨床看護学講座

准教授: 川村三希子, 塚本 容子
講師: 高橋 久江, 石岡 明子
助教: 北村美奈子

(1) 著書

- 1) 川村三希子: QOLを高める援助~症状緩和と看護師の役割. 114~118, 心理社会的援助~グループに

- よるサポート. 167~172, がん患者のセクシュアリティ・ケア, 173~180, 患者の力を高めるケア~セルフアドボカシーへの支援, 181~187. 並木昭義監修, 川股知之編集: すぐに役立つがん患者, 緩和ケアにおけるコメディアルの技とコツ. 真興公易(株)医学出版部, 2009, 3
- 2) 佐藤 歩, 川村三希子: 在宅における看護師の役割~その人の暮らしを支えるケア. 同上, 207~212, 2009, 3.
- 3) 塚本 容子: 病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程. 第12章感染症72. 多剤耐性菌感染症74. 伝染性単核球症, 75. 性感染症, 第14章皮膚疾患(89. 帯状疱疹, 90. 疥癬, 白癬), 1339-1352, 1385-1393, 1399-1411, 1651-1660, 1666-1675. 医学書院, 2008年12月
- 4) 塚本 容子: 第4章看護倫理, 認知症ケアにおける倫理, 日本認知症ケア学会監修, 岡田進一編, 39-50, 2008年10月.
- (3) その他の論文
- 1) 川村三希子: がん患者の呼吸困難へのケア~具体的な注意点 エキスパートナース25(3) 127~130, 2009
- 2) 柳谷幸枝, 川村三希子: がんになっても自分らしく暮らすことを支える看護師の役割と新たな挑戦 緩和医療学, 11(3), 230-237, 2009
- (4) 学会発表
- 1) 川村三希子: エンド・オブ・ライフケアにおける Good Deathの検討~緩和ケアに関わる看護師が捉える Good Death. 日本死の臨床研究会, 2008, 10.
- 2) 川村三希子, 小島悦子: 積極的治療が望めなくなった時期のがん患者に対する情報提供のあり方についての検討. 第23回日本がん看護学会, 2009, 2
- 3) 川村三希子, 小島悦子: 積極的治療が望めなくなった時期のがん患者の家族に対する情報提供のあり方についての検討. 第14回日本緩和医療学会, 2009, 6
- 4) Mikiko Kawamura, Kikuko Iwamoto, Etsuko Kojima, Chizuko Takigawa: What is needed, and what is given: establishing a better information system in Japanese Palliative Care Service 2009.9, Perth. AU
- 5) 西村歌織, 川村三希子, 竹生礼子, 平 典子: 食道がんで手術を受けた患者の生活における疎外感-2名のインタビューから- 北海道医療大学看護福祉学部学会2009, 9
- 6) 塚本容子, 松澤由香里, 三宅隆仁: サージキャパシ
ティ, 口演, 日本災害看護学会, 2009年8月
- 7) Reika Ishizumi, Yoko Tsukamoto, Yoko Saito, et al.: Helicobacter cinaedi Bloodstream Infection and Cellulitis, Poster Presentation, 2009 APIC Annual Conference.
- 8) 塚本容子: 手術部位感染予防バンドル導入にあたっての課題, ポスター, 環境感染学会, 2009年2月
- 9) 塚本容子: ナースプラクティショナー活動の実際, シンポジスト, 第10回 国際がん看護セミナー, 2009年11月
- 10) 北村美奈子: 臓器移植の倫理的問題に関連する要因, 第4回日本移植・再生医療看護学会, 2008, 10 京都
- 11) 三枝真理, 遠藤智子, 深沢聡恵, 北村美奈子: 血縁ドナーに対するクリニカル移植コーディネーター関与の必要性-造血細胞移植ドナーコーディネート課題におけるケースレポートより-, 第4回日本移植・再生医療看護学会, 2008. 10 京都
- 12) 北村美奈子: 移植治療を選択した後悔とその関連の検討, 第31回 日本造血細胞移植学会, 2009. 2 札幌
- (5) 講演
- 1) 川村三希子: 「緩和ケア教育の現状と展望~看護師教育」. 第12回北海道緩和医療研究会. シンポジスト, 10月, 札幌
- 2) 川村三希子: 音楽療法基礎講座 音楽療法と緩和ケア 2月
- 3) 川村三希子: がん患者の呼吸困難を緩和する実践的アプローチ~患者を苦痛から解放するために看護師が成すべきこと~. 札幌医科大学病院, がん・緩和ケア教育セミナー, 7月
- 4) 塚本容子: 新型インフルエンザ-自分の身は自分で守ろう, やさしい健康講座, 本学図書館主催, 2009年9月
- 5) 塚本容子: 医療従事者が知っておきたい新型インフルエンザ, 第3回旭川感染管理ネットワーク, 2009年5月
- 6) 塚本容子: 患者安全と感染管理, 東徳州会病院, 院内勉強会, 2009年3月
- 7) 塚本容子: 血管アクセスデバイス~PICCに焦点を当てて, 旭川赤十字病院, 株式会社メディコン主催, 2009年2月
- 8) 塚本容子: 患者安全と感染管理, インフェクションコントロールフォーラム, 昭和大学, 2009年12月
- 9) 塚本容子: 手術部位感染予防策, JR札幌病院院内感染講演会, 2008年10月

(6) 社会活動

- 1) 川村三希子：北海道がん対策推進委員
- 2) 川村三希子：北海道専門分野（がん・糖尿病）看護師育成検討会
- 3) 川村三希子：日本緩和医療学会 代議委員
- 4) 川村三希子：日本がん看護学会 評議委員・査読委員
- 5) 川村三希子：日本緩和医療学会 疼痛ガイドライン作成委員
- 6) 川村三希子：日本緩和医療学会 消化器症状ガイドライン作成委員
- 7) 川村三希子：日本ホスピス緩和ケア協会北海道支部役員
- 8) 川村三希子：ホスピスケア研究会札幌分会世話人
- 9) 川村三希子：日本死の臨床研究会北海道支部常任幹事
- 10) 川村三希子：札幌ホスピス緩和ケアネットワーク常任幹事
- 11) 川村三希子：kanwa-n-net世話人代表
- 12) 川村三希子：第12回北海道緩和医療研究会特別講演「がん対策基本法～患者が果たした役割と今後の展望」座長，10月，札幌
- 13) 川村三希子：第32回日本死の臨床研究会，事例検討座長，10月，札幌
- 14) 川村三希子：平成20年度がんプロフェッショナル養成プラン「がん医療における化学療法の役割と緩和ケアの接点」シンポジウム座長，3月，札幌
- 15) 川村三希子：日本ホスピス緩和ケア協会北海道支部大会「オール北海道・緩和ケアの実践～地域からの発信」シンポジウム座長，5月，札幌
- 16) 川村三希子：医師のための緩和ケア教育プログラム（PEACE）ファシリテーター 2月27～28日（札幌），6月27日～28日（札幌），8月1日～2日（帯広）
- 17) 川村三希子：がんプロフェッショナル養成プランがん看護インテンシブコース責任者
- 18) 川村三希子：NPO市民と共に創るホスピスケアの会．がん患者・家族のための情報提供支援「ちえのわ」運営・企画
- 19) 塚本容子：認定看護師教育基準カリキュラム検討ワーキンググループ委員，日本看護協会，2009
- 20) 塚本容子：APIC（米国感染管理学会）サマリーセッション担当，3M主催，2009年6月8日～11日
- 21) 塚本容子：文科省学びなおし事業本学担当委員，2009
- 22) 塚本容子：戦略的大学連携支援事業連絡調整会議構成員およびワーキンググループメンバー，2009

- 23) 石岡明子：がんプロフェッショナル養成プランがん看護コメディカルコース・インテンシブコース担当者
- 24) 石岡明子：がんプロフェッショナル養成プラン「がん患者のセクシュアリティを考える」座長，2009，8月
- 25) 石岡明子：NPO市民と共に創るホスピスケアの会．がん患者・家族のための情報提供支援「ちえのわ」運営・企画
- 26) 高橋久江，北村美奈子：社会保険病院看護部 研究指導，2008
- 27) 北村美奈子：札幌国際情報高校 模擬講義，2008，11月

大学院担当

教授：石垣 靖子

(1) 著書

- 1) 石垣靖子：人間として遇するということ 19歳の君へ一人が生き，死ぬということ，共著，春秋社，2008

(3) その他の論文

- 1) 石垣靖子：一般病棟におけるがん患者・家族の「こころのケア」，ナースセミナー，日総研出版，2008（，11）．
- 2) 石垣靖子：あなたが傍にいと温かい 心に響く看護体験，主任&中堅，日総研出版，2008（，11）．
- 3) 石垣靖子：普通の人であること ところに響く看護体験，主任&中堅，日総研出版，2008（，9）．
- 4) 石垣靖子：人間性の回復に向けて 心に響く看護体験，主任&中堅，日総研出版，2009（，7）．
- 5) 石垣靖子：傍らにいとという贈り物，北海道経済，2009（，3）．
- 6) 石垣靖子：子ども（患者）のもっている力を信じる 心に響く看護体験，主任&中堅，日総研出版，2009（，1）．
- 7) 石垣靖子：患者・家族の意思はどこまで尊重できるか 最期まで考えるQOL，ナーシング・トウデイ，2009年5月臨時増刊号，日本看護協会出版会，2009（，5）．
- 8) 石垣靖子：患者と家族の間に橋を架ける看護師 心に響く看護体験，主任&中堅，日総研出版，2009（，5）．

(5) 講演

- 1) 石垣靖子：医療の質と臨床倫理 KKR札幌医療センター講演会，2008 (,) .
- 2) 石垣靖子：最新の医療における「生命・いのち」の問題—ケアの現場から—武蔵女子短期大学，共通教養科目，「生命と倫理」，講義，2008 (, 10) .
- 3) 石垣靖子：「傍らにということ」—ホスピス・緩和ケアの本質—周南いのちを考える会，講演，2008 (, 11) .
- 4) 石垣靖子：リーダーシップ論 KKR札幌医療センター，リーダーシップ研修2，AstraZeca Seminar for Nurses，2008 (, 11) .
- 5) 石垣靖子：「がん患者が求めること，私たちがすべきこと」講演会，総合司会，2008 (, 11) .
- 6) 石垣靖子：「傍らにということ」という贈りもの—ホスピスケアをとおして—ユーキャン講演会，講師，2008 (, 11) .
- 7) 石垣靖子：医療の本質はやさしさ 江別市立病院ボランティア講座，講演，2008 (, 12) .
- 8) 石垣靖子：看護を志す後輩に伝えたいこと ホスピスケアをとおして 砂川市立病院附属看護専門学校特別講演，2008 (, 12) .
- 9) 石垣靖子：がん治療と緩和ケア そのとき可能でベストの治療をめざして「がんプロフェッショナル養成プラン」多職種参加型インテンシブプログラム，王子総合病院，2008 (, 12) .
- 10) 石垣靖子：21世紀に輝く看護管理者 全国衛星中継講座，トップマネジメントに役立つ看護管理，日本看護協会神戸研修センター，2008 (, 12) .
- 11) 石垣靖子：がん患者における看護倫理を考える 日本看護協会出版会2008年度全国看護セミナー，がん看護を再考する，京都府看護協会，富山県看護協会，2008
- 12) 石垣靖子：緩和ケアにおける看護師の役割 旭川医科大学がん専門看護師養成コース，講義，2008
- 13) 石垣靖子：ペーシエントからパースンへの挑戦 がん患者の不安を和らげる「スキンカモフラージュ」日総研講演会，講師，仙台，東京，2009 (, 1) .
- 14) 石垣靖子：傍らにということ贈り物—ホスピスケアをとおして—，旭川青年大学講演会，2009 (, 1) .
- 15) 石垣靖子：看護倫理・患者の人権擁護としての看護の役割 北海道看護協会認定看護管理者ファーストレベル教育課程，2009 (, 2) .
- 16) 石垣靖子：がん患者のこころのケア 山口赤十字病院講演会，2009 (, 2) .
- 17) 石垣靖子：看護が担う社会的役割 平成20年度看護ネットワークサミット，大分県，2009 (, 2) .
- 18) 石垣靖子：ケアリングと倫理 東京大学大学院人文社系研究科上広死生学講座，臨床倫理セミナー，鹿児島県，京セラホテル，2009 (, 2) .
- 19) 石垣靖子：緩和ケアについて 平成20年度がんプロフェッショナル養成プラン，市民公開講座，2009 (, 2) .
- 20) 石垣靖子：アドボケートとしてのナース—看護管理者の原点— 静岡県立総合病院，2009 (, 3) .
- 21) 石垣靖子：副院長が病院経営で果たす役割 副院長・看護部長懇話会，北海道看護協会，2009 (, 3) .
- 22) 石垣靖子：傍らにということ 第190回ホスピスケア市民講座，市民と共に創るホスピスケアの会，2009 (, 4) .
- 23) 石垣靖子：医療の質と臨床倫理：五稜会病院倫理研修，2009 (, 4) .
- 24) 石垣靖子：傍らにということ 緩和ケアをとおして 市立札幌病院学術講演会，2009 (, 5) .
- 25) 石垣靖子：よりよい看護実践をめざして アドボケートとしてのナース 泉大津病院倫理研修，2009 (, 6) .
- 26) 石垣靖子：いつかはくる<そのとき>のために山口県周南市，憩いの駅“えんがわ”，講演，2009 (, 6) .
- 27) 石垣靖子：看護専門職論・看護倫理 青森県看護協会，認定看護管理者ファーストレベル教育課程，2009 (, 7) .
- 28) 石垣靖子：がん看護の未来に向けて 患者・家族を支え続けるために 第40回に本看護学会—看護総合，京都，2009 (, 7) .
- 29) 石垣靖子：いつかはくる<そのとき>のためにホスピスケアをとおして 第6回薬師山セミナー，2009 (, 7) .
- 30) 石垣靖子：緩和ケアにおける看護師の役割 トータルペインとQOLの概念理解 旭川医科大学大学院がん看護師養成コース，2009 (, 8) .
- 31) 石垣靖子：いのちを考える 緩和ケアの現場から 北海道武蔵女子短期大学共通教養科目特別講義，2009 (, 9) .
- 32) 石垣靖子：がん患者の全人的ケア 緩和ケアの実践をとおして 金沢赤十字病院特別講演会，2009 (, 9) .
- 33) 石垣靖子：ひとを育てるとということ 日本看護協会全国看護セミナー，「今改めて，看護管理を考える」，新潟県看護協会，2009 (, 7) . 福岡県看護協会，2009 (, 8) .
- 34) 石垣靖子：がん化学療法に伴う患者・家族の意思決定を支える看護援助 がん化学療法認定看護師教育

課程，青森県立保健大学，2009（，9）。

- 35) 石垣靖子：がんの代替・補完医療における看護師の役割　がん化学療法認定看護師教育課程，青森県立保健大学，2009（，9）。
- 36) 石垣靖子：パリアティブ・ケア（Palliative care）公立法人札幌市立大学　看護専門教育科目担当15時間，2008年
- 37) 石垣靖子：経営者論　認定看護管理者サードレベル，公立法人札幌市立大学，2008（，9）。

(6) 社会活動

- 1) 石垣靖子：日本臨床死生学会理事
- 2) 石垣靖子：日本がん看護学会理事
- 3) 石垣靖子：日本看護科学学会代議員
- 4) 石垣靖子：厚生労働省　新人看護職員に関する検討会座長
- 5) 石垣靖子：札幌の医療を考える会（札幌市）委員
- 6) 石垣靖子：北海道総合保健医療協議会専門委員会看護対策小委員会委員
- 7) 石垣靖子：笹川医学医療研究財団理事
- 8) 石垣靖子：旭川医科大学大学院客員教授
- 9) 石垣靖子：日本在宅ケア学会評議員